

# 交通安全を見守る ～大わらじ～



「昭和 57 年頃の大わらじ」

写真提供：金子 正



大わらじの  
掛け替えの様子



「現在の大わらじ」

撮影：海野 道男



「昭和 9 年頃の大わらじ」 写真提供：金子 正

みなみやと  
南谷戸（戸塚区下倉田町）の鎌倉街道沿いに大わらじがあります。片方だけに見えますが、実は左右のわらじが重ねられています。鉄骨入りなので、片方約100kgもあります。

鎌倉時代、村の安泰と旅人の安全を祈願するため、木に普通サイズのをらじを吊るしたところ、旅の僧が古くなった自分のわらじと交換していくようになり、以後さかんになりました。サイズが大きくなったのは大正初期、その後内部に骨組を入れるなど技術的な工夫を重ね、今のサイズにまで大きくなりました。

現在は数年に一度、保存会の「みなみやとわらじかい」会員50～60人が三日間かけて新しく作り、掛け替えています。

※大わらじは、横浜市地域有形民俗文化財です。

